国際石油開発帝石株式会社
INPEX CORPORATION

平成 25 年 6 月 27 日

各　位

会社名　　国際石油開発帝石株式会社
代表者名　　代表取締役社長　北村 俊昭
（コード番号　1605　東証第一部）
問合せ先　　広報・IR ﾕﾆｯﾄｼﾞｪﾈﾗﾙﾏﾈｰｼﾞｬｰ　橘高 公久
電話番号　　03-5572-0233

オーストラリア イクシス LNG プロジェクト
台湾 CPC への権益の一部譲渡について

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、オーストラリアで操業主体（オペレーター）としてプロジェクトパートナーとともにイクシスLNGプロジェクト（以下、本プロジェクト）の開発作業を進めておりますが、このたび、台湾のCPC Corporation, Taiwan（以下、CPC社）との間で、当社グループ会社が保有する本プロジェクト権益(*)66.070%の一部（2.625%）譲渡について合意しましたので、お知らせいたします。なお、今回の権益譲渡は、オーストラリア政府の承認を含む権益譲渡契約上の先行条件の充足が契約発効のための条件となります。

(*)本プロジェクト権益は以下を含む：
1. WA-50-L鉱区（イクシスガス・コンデンセート田を含む）およびWA-51-L鉱区権益
2. WA-285-P鉱区（WA-50-L鉱区に隣接する探鉱エリア）権益
3. ガスパイプラインおよび下流液化施設等を保有し、液化・販売等を実施する下流事業会社であるイクシスLNG社の株式

既に公表しているとおり、当社は、トタール社、東京ガス株式会社（以下、東京ガス）、大阪ガス株式会社（以下、大阪ガス）、中部電力株式会社（以下、中部電力）および東邦ガス株式会社（以下、東邦ガス）へ本プロジェクト権益を譲渡しております。今次CPC社との合意を含め、これらの手続きが完了した時点での本プロジェクトの権益保有比率は次のとおりです。

当社（オペレーター）	:	63.445%	
トタール社	:	30.000%	
CPC社	:	2.625%	（権益譲渡契約上の先行条件の充足に向け手続き中）
東京ガス	:	1.575%	
大阪ガス	:	1.200%	
中部電力	:	0.735%	

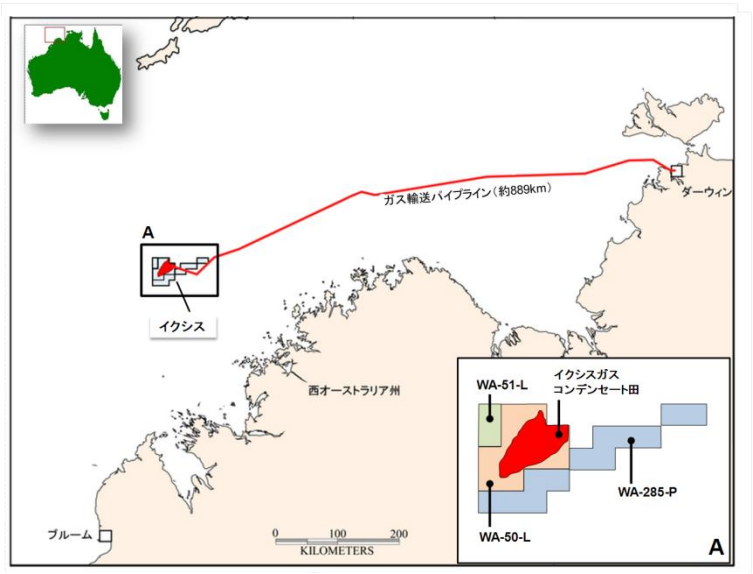
国際石油開発帝石株式会社
INPEX CORPORATION

東邦ガス　　：　　0.420%

今後も当社は、本プロジェクトに関係する地域コミュニティの方々、連邦政府、西豪州政府および北部準州政府等のオーストラリアの関係者やプロジェクト関係者の方々のご理解とご協力を得ながら、このプロジェクトの成功に向けて引き続きまい進して参る所存です。

なお、本譲渡による当社連結業績への影響については、軽微であります。

以上



イクシス LNG プロジェクトロケーション



オーストラリア ダーウィンにおける液化天然ガス（LNG）プラント建設イメージ図

イクシス LNG プロジェクト

イクシスLNGプロジェクトは、当社が操業主体（オペレーター）としてトタール社、東京ガス、大阪ガス、中部電力、東邦ガスおよび台湾CPCとともに、オーストラリア連邦西豪州沖合に位置するイクシスガス・コンデンセート田より産出される天然ガスを、オーストラリア連邦北部準州のダーウィンに建設するガス液化プラントにて液化し、年間840万トンのLNG（液化天然ガス）および年間160万トンのLPG（液化石油ガス）として生産・出荷するとともに、沖合生産・貯油出荷施設（FPSO：Floating Production, Storage and Offloading）等から日量約10万バレル（ピーク時）のコンデンセートを生産・出荷する大規模なLNGプロジェクトです。

当社は、1998年の公開入札により本プロジェクトが位置する鉱区の探鉱権を取得、その後の探鉱・評価作業や基本設計作業などの開発検討作業を経て2012年1月に本プロジェクト最終投資決定を行いました。現在、2016年末までに生産を開始すべく順次開発作業を実施中です。